

東部医療センター

	発生年月	発生場所	事故の概要	再発防止策
1	2015. 5	透析室	患者を移送する際に、気管切開の酸素チューブが外れており、全身色不良になり冷汗の症状を発症した。	患者の移送時には、血中酸素飽和度の観察を行う。 機器接続の多い患者の移送は、複数の看護師によって行う。
2	2015. 10	外来診察室	抜歯後の縫合の際、縫合針を紛失した。透視を行ったが、針は発見されなかった。	縫合処置終了後の針カウントを徹底する。
3	2015. 11	検査室	過去にアレルギー反応のあった造影剤を心臓カテーテル検査の患者に再び使用し、症状が出現した。	アレルギー反応発症時のカルテへの記載を徹底する。
4	2016. 2	病室	看護師のポシエットの手指消毒容器によって経皮的に胆管に留置されたチューブが引っ張られ、除去された。	ケアや処置の際は、ポシエットは背部へ回すこととした。 チューブ類の管理に当たっては、その都度医師と相談して、長さの調節等を行うこととした。